

物忘れや認知機能について気になる場合 どんな検査がおすすめですか？

A:認知機能セルフチェックがおすすめです

認知機能セルフチェックは、あなたの眼の動きを分析して認知機能の状態を確認できる次世代型の検査機器です。口頭や筆記での回答が不要で、負担の少ないところも特徴です。

検査時間
5分

- 1 VRを覗き込む
 - 2 認知課題に回答
 - 3 結果を受け取る
- 
- 
- 



認知症予防のカギは → 認知機能低下の早期発見

MCI(軽度認知障害)と診断、あるいは発症する年齢は**50～60代**に多く、MCI段階の人人が適切な処置や改善を行うと、**14～44%**が健常状態に戻ると言われています。◆



検査を受ける理由はさまざま



脳ドックと一緒に検査を受けることで、自身の脳の状態をより詳しく知りたいと思った。

50代 男性



母親が認知症になったことをきっかけに、人ごとではないと思い検査を受けてみようと思った。

40代 男性



家族にすすめられ、認知症になったら家族にも大きな負担をかけてしまうと改めて気付かされた。

60代 男性



人の名前がパッと出てこなかったり、家の鍵を閉めたかなどの物忘れがあり、不安を感じていた。

50代 女性

本検査は、利用者が何らかの病気に罹患している可能性を示したり、診断等の医学的判断をしたりするものではなく、また、本検査に使用される機器は疾患の診断、治療または予防を目的としたものではありません。本検査は、日頃の認知機能の状態を知るためにスクリーニング検査ですので、ご自身の認知機能の状態把握の目安の一つとしてください。